



Wild, Natural & Sustainable®

IMMEDIATE RELEASE

平成24年1月20日

アラスカサーモン全体の漁獲量の大半を占める主要な水産加工業者が 海洋管理協議会(MSC)からの脱退を示唆 ASMI発行のアラスカ漁業管理認証への移行に期待

アラスカシーフードマーケティング協会(ASMI 本社:米国 アラスカ州ジュノー 代表:専務理事 レイ・リュッタ HP: www.alaskaseafood.org/)は、この度、アラスカサーモン加工業者が、海洋管理協議会(MSC)が規準を定めるアラスカサーモン漁を認証する資金提供を段階的に減らしていくとの報告を受け、今後、アラスカサーモン全体の漁獲量の約75%を占める主要な水産関連企業が、ASMIが発行するFAO準拠の責任あるアラスカ漁業管理認証に移行することに期待を寄せています。

現在、アラスカ漁業開発財団(AFDF)が所有している海洋管理協議会(MSC)発行のアラスカサーモン認証が2012年10月29日時点でその効力を失うとの発表を受け、ASMIは、既にアラスカ・ジェネラル・シーフーズ、E&Eシーフーズ、アイシクル・シーフーズ、北太平洋シーフーズ、オーシャン・ビューティー・シーフーズ、ピーター・パン・シーフーズ、シーフード・プロデューサーズ・コープ、トライデント・シーフーズなど、主要な水産加工業者から多くの問い合わせを受け、各企業との話し合いを開始しています。アラスカ水産業界関係者は、この脱退の主な理由として、海洋管理協議会による認証がアラスカ産サーモンの持続可能性に貢献しなかったことを挙げていますが、2012年の鮭漁のシーズン中に獲られるアラスカ産サーモンは、海洋管理協議会(MSC)発行のロゴを付けたまま販売されることとなります。

アラスカは何十年も前から天然水産資源管理の持続可能性を目指し積極的に取り組んできました。何十年に渡り持続可能性を目指し漁場作りに取り組んできたアラスカ州は世界でもリーダー的存在です。中には認証されていない海産物もありますが、アラスカの全ての海産物が持続可能性を維持しているという事実は、長年に渡り、アラスカ州およびアラスカ連邦政府が天然水産資源管理に配慮した取り組みを行ってきた結果です。また、同州憲法には、アラスカが州として認められた1959年以来、漁獲量を維持する目的で漁業資源管理に関する項目が加えられています。漁業資源の保護に関する条項が憲法に含まれている州は、米国ではアラスカ州のみとなっています。

「アラスカ漁場は安定した基盤の上に築き上げられました。天然水産資源管理に関する条項を憲法にも謳っているのは、漁獲量維持の目的と同時に、アラスカ州が科学的な研究に寄与しアラスカの人々に貢献するためです。漁業および海産物の加工処理は、アラスカの産業にとって最大の雇用を生み出すものです。そのため、認証されているか否かにかかわらず、天然資源を責任をもって管理することが、すなわち、持続可能なアラスカ・コミュニティに影響を与えるということをアラスカの人々は知っているのです。また、アラスカの水産業者は、第三者が発行する認証こそが、その魚介類が責任をもって管理されているという事実を小売業者と食関連のサービス業者に証明するツールだと考えています。」(アラスカ州知事、ショーン・パーネル コメント)

「我々は、FAOコードを行動規範とした責任あるアラスカ漁業管理認証ガイドを用いることにより、他のエコラベルプログラムと同等もしくはそれ以上の効果をもつ第三者が認証を与える証明を顧客に提供しています。一方、我々の顧客たちはアラスカが50年以上に渡り持続可能性にこだわり続けリーダーシップをとってきたことを知っているのです。我々は全ての顧客が認証制度を必要としているわけではないということも理解しています。また、アラスカサーモン加工業者は、海洋管理協議会からの脱退に向けてすでに動き始めています。」(アラスカシーフードマーケティング協会(ASMI)のエグゼクティブ・ディレクター、レイ・リュッタ コメント)

「アラスカ漁業組合はこうした動きの中で、加工業者によるこの行動を全面的にサポートします。そして、このことがアラスカの鮭漁の最大の関心事であると思います。」(アラスカ漁業組合(UFA)の組合長、アーニ・トムソン コメント)

<FAO準拠の責任あるアラスカ漁業管理認証についてのキーポイント>

- 認証取得のための評価は、国際的な合意が得られている国連食糧農業機関(FAO)の行動規範に照らし合わせて行われます。また、認証制度では、FAO行動規範およびガイドラインを下に、適合基準の6つの主要なカテゴリーを設定しています。
 - 漁場管理システム
 - 科学研究および資源評価
 - 予防的アプローチ
 - 管理手法
 - 実施、監視と規制
 - 漁業が生態系に及ぼす重大な影響
- 同プログラムは常識的かつ現実的内容であり、コスト効率も高く、アラスカ州内の漁業関係者がFAO基準を満たしつつ同時に信頼できる認証が得られるように構成されています。
- 国際認定委員会のメンバーによって国際標準化機構(ISO)に登録された認証機関も活用します。
- 認証はASMIを通じて交付されるため、ロゴのライセンス料は発生しません。
- NGOエコラベルプログラムなど、FAO行動規範を採用している認証モデルはほかにも数多く存在します。同モデルは、アイスランドやカナダなどの漁場でも使用されています。

アラスカの持続可能漁業管理及び認証についての更に詳しい情報は以下のURLよりご覧いただけます。

www.alaskaseafood.org.

<http://japanese.alaskaseafood.org/>

■アラスカ水産物について

アラスカシーフードマーケティング協会 (ASMI) は、アラスカ州及びアラスカ水産業界とパートナーシップを結んでいます。また、ASMIは天然のかつ持続可能のアラスカ水産物の促進及び水産業界での啓蒙を掲げています。アラスカは50年以上にわたり、水産物の持続可能性に貢献してきており、アラスカ州憲法にも「持続可能な漁獲を原則とし、利用、開発、維持されるものとする」と明記されています。また、水産業はアラスカ最大の民間労働人口を占めているため、アラスカ人は将来の世代に対して水産業と生息環境を保護する必要性を理解しています。アラスカは世界の市場へ天然の水産物を常に供給できるよう持続性可能の漁業管理のリーダーシップをとっていることに誇りを持っています。

#

本件に関するお問い合わせ先

アラスカシーフードマーケティング協会 (ASMI) 日本地区総代理店

担当 水谷 rmizutani@aviareps.com TEL: 03-3225-0089